

令和4年度第3回行政評価市民会議

日 時：令和5年3月22日（水）18時30分～19時20分

場 所：鹿角市役所 第1・2会議室

出席委員：8名中7名（委員1名欠席）

出席職員：行政評価推進本部長 副市長

〔政策企画課〕課長、室長、主査2名

1 開会（進行：政策企画課）

ただいまから、令和4年度第3回行政評価市民会議を開会いたします。

2 行政評価推進本部長挨拶

第10期行政評価市民会議の最後の会議にあたり、一言お礼を申し上げます。会長を始め委員の皆様には、二年間の長きにわたり行政評価市民会議委員を務めていただきまして、心より感謝申し上げます。委員の皆様からは、市の内部評価の手法が分かりやすく説得力があるか、市の進め方が市民の考え方と大きくかけ離れていないかなど、市の仕事の成果を確認して、外部の目で点検していただくための会議として、多くのご指摘やご提案、ご意見を頂いており改めてお礼申し上げます。

本日の会議でも、さらにご意見、ご提言を頂戴したいと考えておりますが、市民会議意見集にございますとおり、委員の皆様から頂いたご意見は、積極的に行政運営に反映させるとともに、引き続き検討課題としたものにつきましても、より効率的、効果的に進められるよう今後活かしてまいりたいと考えております。行政評価市民会議は来年度以降も、行政評価の客観性と透明性を図るため開催する予定としておりますが、見直し、検証に努め、よりよい評価制度の確立に取り組んでまいりたいと考えております。皆様におかれましては、今後とも格別のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、お礼の言葉とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

3 案件

- (1) 第7次総合計画前期基本計画実施計画（令和5年度～令和7年度）について
（資料1及び資料2）

説明：主査

質疑応答

（委員）取組方針6の新婚世帯への支援について、所得要件が400万円から500万円に緩和されるのは

来年度からになりますか。

(事務局) 来年度からになります。

(委員) 市の財政事情もあるかと思いますが、都会から来る方は一般的に所得が高いのかなと感じているので、所得要件が無い方が市に移り住みやすいのかなと思いました。

(事務局) おっしゃるとおり所得要件があることによって対象者は絞られています。結婚に対する課題として、若い方が経済的な問題から結婚を躊躇されるということがありまして、低所得の若い方々の結婚を支援したいという事業になっております。しかし、これまでの 400 万円では要件が厳しく利用者が少なかったこともあり、次年度からは 500 万円未満に緩和することになっています。この要件ですと、大体収入で 1 人 360 万円ぐらい、夫婦で 720 万円もらっていても、所得要件の 500 万円に収まるものと考えています。そのため、鹿角市近郊であれば 29 歳以下のおよその方々が対象になるのかなと思っています。

(会長) ありがとうございます。他にご意見等ございますか。

(委員) 取組方針 19 の授業支援アプリの導入についてですが、先生によって使い方が違うのではないかと思います、市で使い方の方針を示したりイメージを共有したりしているのか気になりました。

(事務局) おっしゃるとおり先生の能力的な部分でも利用に差が生じているという話は聞いております。所管は教育委員会になりますが、教育委員会の方で先生たちに対して ICT に関する研修会を行って、このような使い方ができるというところを示しているという話を伺っていますし、ICT 支援員を配置して、機器操作への対応やトラブルがあった際のリカバリーができる体制づくりを行っています。今年度は電子黒板を全学級に配置しており、これに対応する授業支援アプリによって、生徒が自分のところで付箋を貼ったものが全員で共有できるようになるということで、手元でやった作業が全部反映できるアプリが入っているということですので、授業についてはだいぶ進んでいるものと思われます。

(委員) 授業支援アプリは、市内のどの学校でも一律に使われるのでしょうか。

(事務局) そのアプリはロイロノートというものですが、一律に導入することとしています。先生によっては異動もありますし、また他地域の先生もいらっしゃると思いますが、その場合でも使えるように研修等をしているといったところです。

(委員) タブレット端末の持ち帰りは今後促進されていくのでしょうか。我が家でも、昨年度子どもが 2 回持ち帰ってきたことがあったので。ロイロノートは全国的に使われているアプリみたいなもので今後も利用されていくものと思いますが、Wi-Fi 環境が無い家だとタブレットを持ち帰ってきても、コモッセなどの通信環境があるところに行かないと使えないなと思っていて。先日学校から家庭の Wi-Fi 環境を確認するアンケートがあったのですが、「就学援助費にオンライン学習環境の導入支援を追加する」とあるのは、そういう人たちへの支援ということでしょうか。

(事務局) はい。おっしゃるとおりです。今後、ICT 教育を推進していく中で家庭での学習端末の活用というのでも検討されているところです。Wi-Fi 環境が無い児童生徒への対応として、低所得者向けにはなりますが、就学援助費での支援を次年度から行っていきます。

(委員) 市町村によっては、ポケット Wi-Fi を貸し出しているという話も聞きますが、格差があると学習にも影響を及ぼすと思いますので、そういう制度はありがたいなと思います。

(事務局) 既に設置された方との公平性を考慮して、低所得者向けの支援としております。

(委員) 取組方針7のファミリー・サポート・センターの利用料を半額というのも、収入によって差が出ないようにするための同じような取組みということになるのですかね。

(事務局) はい。皆さんもご存知のとおりファミリー・サポート・センターは、預かり支援としてかなり人気が高く需要も多いのですが、提供する会員が段々減少してきているという課題があります。そのため、提供会員の報酬を650円から800円に引き上げることとしております。しかし、今までどおりその半額を負担していただくとすると、利用者の支払う金額も増えてしまいますので、その対策として児童扶養手当受給者と未就園児養育者の利用料については半額にすることとしております。

(委員) 私は十分安いと思っています。市外をみても、例えば盛岡と比べても半額以下なので、鹿角市では低所得者が多いとは言え、きちんと研修を受けている方々にこの金額で安心して子供を預けられるというのは恵まれているなと思います。私も過去に利用していたので、とてもありがたいなと感じていました。

(事務局) ありがとうございます。部活動の迎えて使う方もいらっしゃると聞いておりますけれども、毎日使うとなるとやはりそれなりの出費になりますので費用の方はなるべく抑えていきたいと思っています。ただ、今おっしゃられたように利用者負担の公平性という部分も考えつつ今後も進めていきたいと思っています。

(会長) 他にご意見等ございますか。

(委員) 取組方針25のウインタースポーツに親しむ機会の創出を検討するとありますが、今の子どもたちはスキー授業がきちんと受けられているのか気になります。「スキーのまち」と言われている中で、スキーに触れ合っているのかなと。

(事務局) 先生方への多忙化対策等もあり、学校でも対応するのが大変になってきているということは聞いております。スキー授業については、今のところ全学校で行われておりますけれども、なかなか難しいという話は出てきているようです。ただ、鹿角市の場合、「スキーと駅伝のまち」で取組みを進めてきたこともありますし、今後統合校になった場合の特色づくりといった部分でも、スキーと駅伝での展開ができないか考えていて、今回の実施計画にもスキー人口の底辺拡大を載せているところです。やはり、スキーに親しむ人口を増やしていかなければ、プレイヤーの方も増えていかないということもありますので、これに取り組んでいきたいと考えております。

(会長) 他にご意見等ございますか。

(委員) 取組方針26で2030年のゼロカーボンシティの実現のために、EV車の導入目標を5,000台としていますが、なかなか大変そうな目標だと思います。この辺では山間部が多く走行距離が伸びなかったり、冬の時期に雪があったりとEV車には不利な環境かなと思いますので、2030年までの目標はなかなかハードルの高い目標かなと感じています。

(事務局) 我々もなかなかハードルが高いと思いますが、国からの交付金等も活用しながら、また、今回地球温暖化対策実行計画を策定しており、今度の広報にも載せていきますけれども、行政だけの取組みではどうしても難しいだろうと思いますので、市民の皆様からのご理解と、事業者からのご協力を得て、一緒にEV導入を進めていければと考えております。

(委員) 個人的には2台持ちの人であれば、例えば1台はEV車にして、もう1台はHV車などの低燃費車にすることで、現実的に利用が可能になりそうな気はします。

(事務局) そういった支援もできるように国では交付金を準備していると思いますが、こちらでそれを活用できるかどうかを含め、来年度に策定する EV マスタープランで、こういった進め方をしていくかを決めていきたいと考えています。

(委員) ありがとうございます。

(会長) 他にどうでしょうか。

(委員) 取組方針 30 の未来技術の導入のところで、市のホームページをリニューアルしていくことが書かれていますけれども、少し市のホームページが使いづらいと感じていて、リニューアルを期待しています。また、ペーパーレス化についても、普段仕事をしていると直接市役所に行って何か手続きをすることがなかなか難しかったりするので、自宅で手続きが可能になると非常に助かりますしやりやすくなると思います。市のホームページをリニューアルする際は、その辺も含めて対応いただきたいですし、質問についても今は AI を使って質問に対する回答を導入しているホームページもあるので、取り入れていって貰えればと思います。あとは、SNS について、市ではいくつかの課で運用しているアカウントがあると思いますが、このアカウントではこの情報が出ているけれども、このアカウントではこの情報が見れないということがあり、一方でそれを全て登録するのは難しいですし、正直煩わしいという思いもあり、簡単にならないものか感じていました。完全にカバーするのはもしかしたら難しいのかもしれないですけれども、このアカウントをフォローしておけば、市の情報が大体入手できるようになるといいなと思っていましたので検討いただけるとありがたいです。

(事務局) はい。いただいたご意見を反映して来年度、業者に発注する際にその点を考慮していきたいと思います。おっしゃるとおりオンライン化を進めていくために必要なアップデートをして、使いやすいホームページになればいいなと考えていますので、そのような方向でいきたいと思います。また、SNS、特に LINE などについては余計な情報は要らないという人もいるということで、例えば観光向けの LINE であれば、観光情報しか流さないようにして行政のお堅い情報は載せないようにしているなど、個別に発信していく方針で進めていますが、ホームページと連動した SNS を導入するには、そういったことも検討していきたいと思います。

(委員) 最近、県ではメタバース空間を使って色々な事業を進めているようですが、市でも取り組む雰囲気や方向性があるものですか。

(事務局) 移住担当の方では、こういった社会情勢の中でなかなか首都圏でのフェアに参加できない状況がありますので、県のメタバースを活用して県内各市町村がその空間内に入って来客した方々に説明するような試みを始めたところです。先日、市でも県のメタバースに参加しましたが、まだシステムが試行段階であり、もう少し改良が必要かなと感じました。今は移住担当の方で他に先駆けてやっていますけれども、システムの改良状況などを見ながら他にも広げられそうな分野があるかどうか見極めて検討していきたいと思います。

今のメタバース空間はそれぞれが独立していて、他のメタバース空間との互換性がない状況になっていますので、まだ活用されていく段階にはないだろうと思っています。ただ、市としてはメタバース空間を活用していく必要があると捉えていますので、まずは分野を選びながら試行し、汎用的なものが出てくれば、それと連動できるようにしていきたいと考えています。

(会長) 他にいかがですか。

(委員) ホームページについてですが、市でやっていることや事業などは大変分かりやすく詳細が載っているかなと思いますが、本当に知りたいことにたどり着くまでに大変時間が掛かっている状況で、検索できず全てクリックしても答えが載っていないということがしばしばあります。結果的に、私の場合は代表電話に電話して担当課に回してもらっていますが、水曜日以外は終了時間が早いため、なかなか情報が得にくいなと感じています。例えば、テレフォン病院 24 みたいに電話したら答えてくれるのであればいいのですが、ホームページの検索を途中で諦めてしまっている人が多いのかなと、個人的な見解ですが。費用が掛かることなので一概には言えないですけども、先ほど言ったような自動で答えてくれるサービスなどがあると、よりホームページの良さが生かされてくると思います。

(事務局) 現行のホームページがワード検索をメインにしたつくりとなっており、情報にたどりつきにくいという意見をいただいていますので、我々としてもその辺を改善したいということで今回リニューアルを行います。その中で先ほどもあった、ホームページを見に来なくても、情報がある程度一斉に提供できるようにするという事で SNS の導入を考えていますし、検索側で知りたいことをもう少したどり着きやすくしたり、あるいはホームページでなくても気軽に調べられるようにしたりできればと、AI チャットボットの導入も検討しているところです。ただ、おっしゃられたように費用の面や情報の蓄積といった課題もあるので、先進的な事例を見ながら研究していきたいと考えています。

(委員) 前回のホームページより今回のホームページは見やすくなっていると思います。写真もありますし、鹿角の魅力も紹介されていますし、時代に沿ってより良いものに対応していただければいいと思います。

(事務局) 前回課題だったところは今回改善していくということで毎回更新していますが、更新していく中でまた別の課題が出てきますし、流行やデザインもありますので、他の自治体のホームページも参考にしながら検討していきたいと思います。

(委員) 取組方針 12 の公共交通手段の確保についてですが、不便を感じている地域への乗合交通の導入は新しい地域を想定しているのでしょうか。前回の会議では八幡平地区や花輪地区で公共交通のタクシー利用の話があったかと思いますが、大湯地区や他の地域でも今後取り組まれていくものなのでしょうか。

(事務局) 参考資料の意見集にある「取組方針 32 コンパクトなまちづくりを進めます」のところで地域公共交通確保対策事業の記載がありますが、今年度公共交通計画を策定することとして進めておりますが、その中で大きく変更した部分として、十和田南駅を中心として捉えていくことを新たに追加しています。これにより、鹿角北部に住む方は十和田南駅に 1 回集まるようなイメージとなり、そこから市役所方面や病院の方に来るということで再検討したいと考えています。その中で、今おっしゃったような公共交通空白地域については、自治会の方でデマンドバスを走らせてほしいという意見がまとまれば、市で座談会という形で説明に伺って、仕組みづくりのご提案をさせていただきたく、そのような形で進めながら空白地域を少しずつ減らしていきたいと考えています。大館市では mobi (モビ) といった共有交通をやっていますが、AI オンデマンド交通については市としても将来的な検討課題として捉えており、まずは公共交通空白地域をデマンドバスなどで解消していきたいと考えております。

(委員) たんぽこまち号も路線が伸びるのですかね。

(事務局) そうですね。新しくできる病院を経由するように、路線を変更しております。

(委員) それは、とてもありがたいことだと思います。十和田地区の人は花輪駅に1回来てからまた戻ることになるため、時間が合わないという問題もあるみたいなので、色々な拠点ができると助かるなと思います。

(事務局) 考え方としては、十和田南駅を拠点に加えることで、連携が取れていなかったり過密になっていたりする路線を均していくことをイメージして計画が組まれているということでした。

(会長) 他によろしいですか。無いようですので、案件1を終わります。

(2) その他

(事務局) 冒頭で副市長から挨拶がありましたとおり、委員の皆様にはこの2年間本当にご難儀をおかけいたしました。おかげさまで、市と市民と一緒に推進している第7次前期基本計画がおおむね順調に進められており、そして皆様からいただいた多くの意見が各課に共有されて取り入れられながら事業立案に向かうことができたものと考えております。本当にありがとうございました。皆様におかれましては、行政評価委員であるかどうかにかかわらず、今後も市の取組みに興味を持っていただき、ご意見等を頂戴できれば幸いです。今回任期を終えられることとなりますが、今後もお気付きの点がございましたら、どうぞ遠慮なく我々の方にお伝えくださるようお願いいたします。2年間本当にありがとうございました。

(会長) 委員の皆様、事務局の皆様、2年間本当にお疲れ様でした。2年間を振り返りますと、安全上で泣かされた2年間であったかなと思います。私は罹患しませんでした、家族が濃厚接触者に該当したり職場で感染症が蔓延したりと、日程調整などで事務局や委員の皆様にはご迷惑をお掛けしたのではと思っています。2年前に市の方から委員になってくれないかという話をいただきまして、自分で大丈夫かなと思いつつもグイグイくるものですから、分かりましたということでお引き受けいたしました。会長という役割もやらせていただきましたけれども、拙い司会進行で、委員の皆様の一人一人の意見をうまく引き出すことができたのかなと、至らない部分があったのかなと思っています。ただ、こうやって普段付き合うことのないような方がいたり、色々な職種の方がいたりする中で、このように繋がりができたのも何かの縁なのかなと感じています。市内で顔を合わせた際は、笑顔で挨拶を交わしたいと思いますし、あの時こうだったよねという話ができるきっかけになったのかなと思います。皆様、2年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

(事務局) 以上をもちまして、第3回行政評価市民会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。

4 閉会 (19:20 終了)